

第3回 介護・医療連携推進会議 議事録

日時	令和2年 6月 20日 発送
場所	コロナ対策の為書面会議にて施行
参加者	利用者様ご家族 2名 北九州湯川病院 MSW 1名 地域包括支援センター小倉1 1名 老人会 会長 1名 外部評価:北九州老人ホーム紹介センター 1名
検討議題	①サービス提供実績 ②事故報告 ③活動内容報告 ④自己評価*別紙参照 ⑤外部評価*別紙参照 ⑤ご意見・まとめ

①サービス提供実績 (令和2年12月～令和3年5月)

	R2.12月	1月	2月	3月	4月	5月
利用者数(人)	40	40	41	43	42	41
内訳 要介護1	13	15	15	15	15	13
要介護2	5	4	4	5	5	5
要介護3	5	4	3	4	4	5
要介護4	12	13	12	11	10	9
要介護5	5	4	7	8	8	9
定期巡回 月間訪問回数(回)	4347	3996	4048	4747	4693	4761
内訳 介護	3152	2988	3008	3467	3438	3548
看護	1195	1008	1040	1280	1255	1213
随時対応 訪問回数(回)	110	104	72	73	116	126
内訳 介護	102	61	54	66	57	116
看護	8	43	18	7	59	10
利用者一人当たりの 平均月間訪問回数(回)	111.3	102.5	100.5	111.4	114.5	119.2
内訳 介護	81.2	76.2	74.7	82.2	83.2	89.4
看護	30.1	26.3	25.8	29.2	31.3	29.8

②事故報告

	R2.12月	1月	2月	3月	4月	5月
転倒	1件	1件	2件	2件	3件	0件
誤薬	0件	0件	0件	1件	0件	0件
怪我(表皮剥離)	0件	0件	1件	1件	0件	0件

<対策>

- 1.転倒について:9件中8件が居室内、1件は廊下で発生。打撲のみが5件、皮膚損傷が2件、骨折が2件。
 - ・その都度ケアマネージャーへ連絡し、センサーマットの導入や、離床センサー、手すりなどの導入を相談し対応。
 - ・発生時はすぐに在宅医へ報告し、転倒から24時間は転倒に伴う随伴症状の出現に注意して観察を行っている。
- 2.誤薬について:食後2時間程経過した後に薬が残っていたことに気づく。
 - ・配薬者の責任の所在を明確化させるため食事チェック表へ印鑑を押す。
 - ・食後に配薬ケースに薬が残っていないかを必ず確認することを徹底。
- 3.怪我について:車椅子移乗時に表皮剥離が発生。
 - ・移乗時の怪我のリスクを減らすため、環境整備の徹底を行う。アームカバーなどで四肢を保護する。
 - ・一人で介助が困難な場合は、無理をせず協力を得る。

③活動内容報告

* 消防訓練

令和2年12月19日(土)

参加人数:職員 4名 入居者:4名

夜間2階倉庫より出火の想定で実施

次回は令和3年6月28日を予定

* 研修参加 (R2年12月~R3年5月)

介護職員:コロナウィルス感染症対策のためオンライン研修へ参加

- ・ 12月 6件、2月 2件 研修参加
- ・ 5月に施設内にてコロナ感染対策のDVD鑑賞と対策について研修実施

看護職員:コロナウィルス感染症対策のため研修中止が続きオンライン研修の募集もあまりなく参加できていない。その為、ステーション内で感染対策、救急対応などの勉強会を実施している。

- ・ 5月に施設内にてコロナ感染対策のDVD鑑賞と対策について研修実施

* 安全衛生委員会 毎月1回実施

- ・感染症対策マニュアルの見直し
- ・新型コロナウイルスへの対応・最新情報の収集
- ・抑制実施中の方の評価を実施
- ・事故報告書の振り返り、再発予防策の検討

④自己評価 * 別紙参照

⑤外部評価 * 別紙参照

⑥ご意見・まとめ

(1)巡回ステーションつむぎ 自己評価について

- ・職員間の連絡・連携がしっかりとれている。日々の変化や状態を的確に把握し会議や研修に反映され、利用者様の安心感につながっている。
- ・どのような医療内容(薬や処置など)が行われているか分からない。
- ・計画の見直し等、状態の変化に応じて柔軟な運営が行われている。
- ・地域の社会資源と利用者をつなぎつけるよう心がけてほしい。

(2)サービス提供実績・事故・活動状況 報告について

- ・転倒対策で様々な対策を取っているが、対策内容についてはその必要性について十分検討してほしい。
- ・訪問回数が多く、徐々に増加傾向であり努力されていると思う。
- ・要介護4.5の利用者様が半数であり大変だと思う。
- ・研修参加や委員会など多忙な中で色々と活動できていると思う。
- ・車椅子などへの移乗の際には皮膚トラブルに注意してほしい。

(3)その他、ご意見等

- ・コロナ渦で制限があるが課題提起・提案などを中心に多様な関係者とのネットワークの構築・活用に繋がれたらいいと思う。
- ・コロナで面会ができず不安。
- ・コロナが終息した場合、地域内でのサービス活用ができればいいと思う。

